後援会だより No.23

発行日：2025.3.1
編　集：大阪経済大学後援会事務局
〒533-8533
大阪市淀川区大隅2-2-8
Tel:06-6328-2431　Fax:06-6320-3930
https://www.osaka-ue.ac.jp/profile/kouenkai/
Mail:kouenkai@osaka-ue.ac.jp

２０２４年度　後援会理事会

６月８日（土）に本学において２０２４年度後援会常任役員会並びに理事会が開催されました。両会では、前年度決算案、新役員・新理事の選任、本年度予算案・事業計画案等について審議され、全ての議案が承認されました。

1.２０２３年度収支決算（案）について

決算案について事務局からの説明の後、今津監事より、「５月１８日（土）会計帳簿・証拠書類を精査し、監査した結果、適正であることを認めた」との報告があり、意見を求めたところ、異議なく同決算（案）が承認されました。

（２０２４年３月３１日現在）

2023年度収支決算書　（単位：円）

Ⅰ収入の部	予算額	決算額
1.後援会費収入	27,476,000	27,352,000
2.受取利息	30,000	29,652
3.雑収入	0	0
4.前年度繰越金	43,097,293	43,097,293
収入の部　合計	70,603,293	70,478,945
Ⅱ支出の部	**予算額**	**決算額**
1.学生福利費		
（イ）運動部活動援助費（注2）	5,100,000	5,438,580
（ロ）文化部活動援助費	2,000,000	1,082,400
（ハ）学生行事費	6,200,000	4,451,300
（ニ）学生研修費	9,593,000	4,721,048
（ホ）備品購入補助	4,610,000	986,419
（ヘ）図書購入補助	395,000	299,969
（ト）学生給費補助	6,050,000	4,850,000
（チ）緊急修学支援金	0	0
（リ）90周年記念事業	0	0
小計	33,948,000	21,829,716
2.教職員研究・厚生費		
（イ）研究図書刊行費（注2）	50,000	59,136
（ロ）教職員海外研究費	0	0
（ハ）海外留学補助	0	0
小計	50,000	59,136
3.教育懇談会運営費	2,000,000	1,898,511
4.慶弔費	600,000	220,000
5.会議費	2,080,000	1,686,131
6.会報出版費	12,000	1,800
7.事務費（注1）	700,000	334,075
8.前期末前払金	0	0
9.前払金	0	0
10.予備費（注2）	2,000,000	
合計（１～１０）	41,390,000	26,029,369
次年度繰越金	29,213,293	44,449,576
支出の部　合計	70,603,293	70,478,945

2024年度収支予算書　（単位：円）

Ⅰ収入の部	当初予算額
1.後援会費収入	29,820,000
2.受取利息	49,000
3.雑収入	0
4.前年度繰越金	44,449,576
収入の部　合計	74,318,576
Ⅱ支出の部	**当初予算額**
1.学生福利費	
（イ）運動部活動援助費	6,100,000
（ロ）文化部活動援助費	2,000,000
（ハ）学生行事費	7,100,000
（ニ）学生研修費	9,521,000
（ホ）備品購入補助	2,650,000
（ヘ）図書購入補助	460,000
（ト）学生給費補助	6,350,000
（チ）緊急修学支援金	0
（リ）90周年記念事業	0
小計	34,181,000
2.教職員研究・厚生費	
（イ）研究図書刊行費	60,000
（ロ）教職員海外研究費	0
（ハ）海外留学補助	0
小計	60,000
3.教育懇談会運営費	2,050,000
4.慶弔費	600,000
5.会議費	2,200,000
6.会報出版費	20,000
7.事務費	1,010,000
8.前期末前払金	0
9.前払金	0
10.予備費	2,000,000
合計（１～１０）	42,121,000
次年度繰越金	32,197,576
支出の部　合計	74,318,576

（注1）事務費のうち、通信費は21,145円、印刷費は113,050円、消耗品費は100,000円、支払手数料は99,880円を計上している。
（注2）予備費のうち、運動部活動援助費に339,000円、研究図書刊行費に10,000円振替

2.新役員並びに新理事の選任について

予め事務局から就任を依頼して内諾を得ていた各候補者を順次紹介し、全員の就任が承諾されました。なお、本年度は理事59名、監事2名で構成されることとなりました。以下、新役員・新理事の方のみご紹介いたします。
（敬称略・50音順）

【新会長】
平井　智之（経済学部）
【新副会長】
南岡　さおり（経営学部）
【新常任理事】
石﨑　崇仁（経済学部）、
小田　美陽子（経済学部）、
熊本　佳織（経営学部）
【新監事】
田中　知矢子（経営学部）、
山口　恵美（情報社会学部）
【新理事】
（経済学部）
石尾　一義、髙橋　登、髙橋　誠
（経営学部）
大河内　仁美、坂口　真美、
杉本　信介、長尾　美貴
（情報社会学部）
藤原　明子、本田　和美
（人間科学部）
金丸　尚美、福岡　剛士、
武用　真実
（国際共創学部）
岡﨑　和洋、川瀬　雅巳

3.２０２４年度予算（案）と事業計画について

予算案について事務局からの説明があり、質疑応答の後、異議なく同予算（案）が承認されました。

4.その他（本学の状況等について）

事務局より、文書保存規程の制定について説明がありました。この規程は、文書の保存や廃棄に関する基準を定め、業務の円滑な遂行を目的としています。

その後、山澤理事長からご挨拶があり、山本学長より本学の近況について、また望月進路支援部長からは最近の就職状況について報告がありました。

※新役員を含む全役員の皆様には、ご多忙の中ご協力いただき、誠にありがとうございます。今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

後援会について

後援会とは、在学生の保護者と大学の教職員からなる組織で、学生の課外活動への支援と大学の教育・研究の発展に寄与することを目的としています。主な活動内容としては、①学生の課外活動の援助、②学費負担者・父母がお亡くなりになったことで家計が急変し、修学が困難になった学生に対する学費援助、③教育懇談会の開催、④後援会だよりの発行、⑤教職員の研究の援助、⑥その他教学振興に必要な事業の支援を行っています。

なお、後援会事務局は、大学総務部総務課（Ｊ館２階）内に置いています。

事務局からのお知らせ

学費負担者等にご不幸があった際の援助金について

学費負担者・父母がお亡くなりになったことで家計が急変し、修学が困難になった場合は、援助金等のご相談に応じたいと思います。詳しくは学生部窓口（Ｊ館１階）までご連絡ください。

災害見舞金について

後援会では、地震や台風、集中豪雨をはじめ自然災害で被害に遭われた在学生・保護者の方に対して僅かながら支援措置を講じています。詳細は学生部窓口（Ｊ館１階）までご相談ください。

2024年度卒業式・学位授与式

日　　程：２０２５年３月１５日（土）
時　　間：
【午前の部】
経済学部、人間科学部
大学院（経済学研究科、人間科学研究科）
9：30　卒業生入場
10：00　開式
11：30～　卒業証書授与（ゼミ別）
【午後の部】
経営学部第1・2部、情報社会学部
大学院（経営学研究科、経営情報研究科）
12：30　卒業生入場
13：00　開式
14：30～　卒業証書授与（ゼミ別）
場　　所：
[式典]７０周年記念館（フレアホール）
[卒業証書授与]ゼミごとに割り当てられた各教室
[保護者会場]A33・A34教室（予定）

※学生・保護者用駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
※保護者の人数制限は設けませんが、ホールが満席となった場合は別教室（映像中継）にご案内します。
※会場にお越しになられない保護者の方には、インターネット（本学HP）での中継を予定しておりますので、そちらからご覧いただけます。

第37回　教育懇談会

大学と後援会が主催する教育懇談会は今年で37回を迎えました。今年祖は大阪（本学）、高松、岡山会場で開催され、合計495名の保護者にご参加いただきました。大阪会場では、山本学長の教育講演を皮切りに、学生の体験談や就職シンポジウム、個別面談、施設見学などが行われました。地方会場でも、全体懇談や個別懇談が実施されました。多くの保護者にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

今後も教育の充実に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

教育懇談会参加人数

開催日	会　場		参加者数
6月22日（土）	大阪	大阪経大学	415
7月 6日（土）	高松	リーガホテルゼスト高松	36
7月 7日（土）	岡山	岡山プラザホテル	44
合　計			495

学長懇談

施設見学

イベント実施報告

①風景スケッチを楽しむ会

実 施 日：2024年9月28日（土）
講　　師：スケッチエッセイスト
大森　俊次 氏（本学40回卒）
参加人数：16名（保護者、在学生、同窓生）

水彩絵の具を使って、スケッチ画に色を塗る方法を学びました。

②煎茶道体験教室

実 施 日：2024年12月7日（土）
講　　師：煎茶道二條流家元
二條　雅瑛 氏（本学58回卒）
参加人数：27名（保護者、在学生、同窓生）

茶室への入り方や立ち居振る舞いの作法を学び、煎茶のお点前を体験しました。